



L.v.Beethoven

L.v ベートーヴェン作曲
Op.86

「ミサ曲ハ長調」

(字幕付き)



Tomoka Yoshida

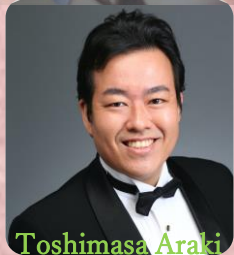


Yumi Nakano



Naoko Kondo

指揮 近藤直子
ソプラノ 吉田朋加
アルト 中野由弥
テノール 荒木俊雅
バス 金沢 平



Toshimasa Araki



Taira Kanazawa

合唱 歓喜の演 Vol.23 合唱団

管弦楽 東京シンフォニックアンサンブル

歓喜の演 Vol.23 《合唱》

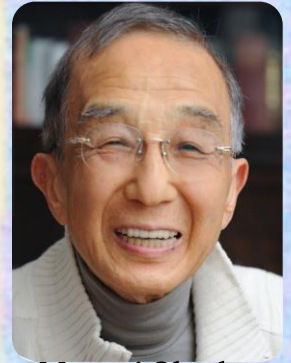
2024年12月7日(土)

開演 15:00 (開場 14:30)

ギャラクシティ 西新井文化ホール

入場料(税込)一般 3,000円 高校生以下 1,500円

※未就学児入場不可 ■チケット発売日9月19日(木)



Megumi Ohnaka

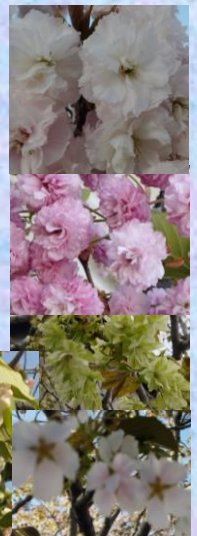
大中 恩作曲 櫻木みずき作詩

混声合唱組曲

「五色桜」

(オーケストラ版)

特別出演 ソプラノ
大中清子



●ギャラクシティ ①窓口販売 9:00~20:00

②インターネット予約 <https://www.galaxcity.jp/> ※発売日のみ 9:00~ 翌日以降24時間受付

③電話予約 03-5242-8161 ※発売日翌日(9:00~20:00)

●足立区内販売窓口(販売受付時間 9:00~20:00) ○庁舎ホール(足立区役所内)※平日のみ 9:00~17:00 ○生涯学習センター(学びピア 21 内) ○各地域学習センター ○スイムスポーツセンター、千住温水プール、千住スポーツ公園、総合スポーツセンター、東綾瀬公園温水プール、平野運動場※9:00~17:00 ※開館状況は、各施設ホームページにてご確認ください。

※ギャラクシティおよび足立区内販売窓口では、販売初日はお座席の指定はできません。

※お求めいただいたチケットのキャンセル、払い戻し、変更等はできません。

※車椅子での鑑賞をご希望のお客様はギャラクシティまでお問い合わせください。

※場内での飲食、写真撮影、録音、録画、携帯電話の使用は固くお断りいたします。

※当日、メディア・関係者の撮影が入る可能性があります。客席を含む会場内の映像・

写真が公開されることがありますので予めご了承ください。

※荒天や感染症の状況などにより、内容変更または中止・延期となる場合がございます。

※駐車場台数に限りがございますので、できるだけ公共交通機関をご利用下さい。

ギャラクシティ 西新井文化ホール
〒123-0842 足立区栗原 1-3-1



主催: 歓喜の演実行委員会(足立区合唱連盟、足立区演劇連盟、ギャラクシティ指定管理者みらい創造堂)、(公財)足立区生涯学習振興公社
後援: 足立区、足立区教育委員会 【お問い合わせ】ギャラクシティ Tel/03-5242-8161 (9:00~20:00) ※休館日を除く

歓喜の演 Vol.23

狂言

2024年11月16日(土)14:00 開演(13:30 開場) ギャラクシティ 西新井文化ホール

「狂言ボレロ」 創作狂言「お伽草子との七」 古典狂言「いろは」「柿山伏」

指導・出演: 山下芳子 出演: 狂言まいまい倶楽部(区民公募)

チケット
発売中

～遊びをせんとや PART16～

全席自由(税込)一般1,000円 高校生以下無料 未就学児入場可

*****「歓喜の演」とは*****

21世紀 ADACHI 芸術文化共同制作プロジェクトの主催事業。2001年1月初演、『21世紀・新春歓喜の演』と題し、合唱・三曲・狂言が共演して満員御礼となった。第2回から(公財)足立区生涯学習振興公社と共に「区民公募」を続け、演劇と音楽のコラボレーションを創造し、毎回百名程の参加者が年間を通じて練習を重ねている。現在はギャラクシティの文化事業として、常に新しい仲間を迎えながら継続的な区民主体の文化＝「歓喜の演」の創造を目指している。

* 足立の五色桜について *NPO 法人五色桜の会*

江戸時代の里桜の苗木を育成する駒込の植木職人、高木孫右衛門と南足立郡江北村の初代村長となる清水謙吾との出会いが五色桜物語の発端です。度重なる荒川の洪水の為、土手の補修で多くの桜の苗木が荒川堤に植樹され、明治中頃には78種3千本以上の樹勢のある桜の並木が出現。「五色桜」と命名されました。しかし明治43年の大洪水により荒川放水路開削事業等で衰退。戦後、地元の五色桜復活の強い要望で、日米友好桜の「里帰り桜」が実現し今日に至ります。

*****出演者プロフィール*****

■指揮 近藤 直子(こんどう なおこ)

尚美音楽短大(現尚美学園大学)声楽科卒業。ハンプルク音楽院に留学。指揮法を高階正光氏に、声楽を T.Niensted、U.Wegner、郡愛子、小松英典各氏に師事。『第九』『ミサ曲』『レクイエム』など管弦楽付き合唱曲を多数指導。東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、ソウルナショナルオーケストラ、東京シンフォニックアンサンブル等と共演。呼吸から声を導く Atem-Tonus-Ton 指導者資格取得。日本声楽発声学会正会員。足立区合唱連盟理事長。21世紀 ADACHI 芸術文化共同制作プロジェクト代表。令和元年度足立区文化功労受賞。

■ソプラノ 吉田 朋加(よしだ ともか)

岩手県盛岡市出身。岩手県立不来方高等学校芸術学系音楽コースピアノ専攻を卒業。山形大学地域教育文化学部音楽芸術コースピアノ専攻を経て、東京藝術大学音楽学部声楽科を卒業。在学中に東京藝術大学バッハカンタータクラブに所属し、小林道夫氏の公開セミナーを受講。第35回ジュニアクラシックコンクール大学生の部全国大会審査員賞受賞。これまでに声楽を村松玲子、菅野順子、櫻田亮の各氏に、ピアノを浅沼光枝、三船桂子、植木由利子、三輪郁、白石光隆の各氏に師事。現在、東京藝術大学大学院音楽研究科声楽専攻修士1年次に在学中。足立区在住。

■アルト 中野 由弥(なかの ゆみ)

東京芸術大学音楽学部声楽科卒業。在学中にオペラ『コシ・ファン・トゥッテ』のドラベッラ役でオペラデビュー。その他『フィガロの結婚』ケルビーノ、『椿姫』フローラ(演奏会形式)『リゴレット』マッダレーナ、ジョバンナ等、『第九』『メサイア』『レクイエム』(モーツァルト、ヴェルディ)『ヨハネ受難曲』『口短調ミサ曲』『クリスマスオラトリオ』(バッハ)等のアルトソロを務める。その他合唱団の指導、ヴォイストレーナーをする等、幅広く活動している。声楽を野本立人、故大國和子、寺谷千枝子、永井和子の各氏に師事。埼玉新演奏家連盟会員、東京カンタータ・コレギウムメンバー。

■テノール 荒木 俊雅(あらき としまさ)

国立音楽大学音楽学部演奏学科声楽専修卒業。二期会オペラ研修所第55期本科修了。声楽を福井 敬、吉川 健一の各氏に師事。ヴェルディ作曲『椿姫』アルフレード、モーツァルト作曲『ドン・ジョヴァンニ』ドン・オッターヴィオ、同『魔笛』タミーノ役等でオペラに出演。またシューベルト作曲『ミサ曲第2番』、同『ミサ曲第6番』、ロッシーニ作曲『小荘厳ミサ曲』等でソリストを務める。山手の丘音楽コンクール2011声楽ソロ部門入選。横浜市旭区民文化センター「第4回サンハート・アンサンブル・オーディション」奨励賞受賞。ヴォーカルコンサート東京、オンブラノリステン各メンバー。二期会会員。

■管弦楽 東京シンフォニックアンサンブル

1984年「一人でも多くの人に生の音楽を」と新進気鋭のプレーヤーが集まり、少人数のアンサンブルからフルオーケストラまであらゆるニーズに応えられ、どのような所でも場所を選ばず演奏できるオーケストラとして結成される。以来学校コンサート、イベントコンサート、合唱団、バレエ団との共演など幅広い活動を行い、好評を得ている。

■特別出演 ソプラノ 大中 清子(おおなか せいこ)

中央大学文学部国文科卒業、東京芸術大学音楽学部声楽科卒業。同大学院修士課程修了。声楽を高橋大海、青木美稚子、疋田生次郎の各氏に師事。二期会会員。日本声楽アカデミー会員。2000年シューベルトとヴェルディ作品にて初リサイタル。同年に寺山修司作詩・大中恩作曲の歌曲集「ひとりぼっちがたまらなかったら」(全23曲)にてリサイタル。その後、大中 恩作品に魅了され、その演奏活動に力を尽くし現在に至る。

2004年、大中 恩と結婚。メグめぐコール・らいおんの会メンバー。

大中 恩 音楽記念館(<https://ohnakamegumi.com/>)を運営。

※2024年より演奏名を北原聖子改め大中清子とさせていただきます。

■バス 金沢 平(かなざわ たいら)

秋田県出身。東京芸術大学声楽科卒業。卒業時に同声会賞受賞。同大学院独唱科修了。第53回藝大メサイア、同年の第23回台東区第九公演のバスソリストを務める。在学中、木下牧子作「不思議の国のアリス」(改訂版初演)にドードー鳥役で出演、2025年2月に2作目となるオペラ「陰陽師」(初演)に出演予定。その他「遠い帆」「紅天女」などの日本語オペラや宗教曲にもソリストとして出演し好評を博す。ウェブサイト「メゾとバスバリ」

■合唱 歓喜の演 Vol.23 合唱団

毎年一般公募により合唱団が結成され、皆で切磋琢磨しながら本番に向かって親交を深め研鑽を積んでいる。毎回7割以上のリピーターが全体を支え、新入団員を大歓迎している。コロナ禍でも団員たちの音楽に対する情熱は冷めることなく、地域の文化活動の力強さと温かい人間力を感じさせてくれる。邦楽と洋楽を融合させたベートーヴェン「第九」の世界初演から始まり、これまでにヘンデル「メサイア」、ハイドン「天地創造」、モーツァルト、フォーレ、ヴェルディ「レクイエム」、バッハ「カンタータ147番」、「マタイ受難曲(口語日本語版)」、「クリスマスオラトリオ」、ラター「マニフィカト」、チルコット「ジャズミサ」等やオペレッタ「こうもり」、合唱と狂言と群読による創作「白秋の世界」、ギャラクシティ30周年記念事業ミュージックハーモニーにて「狂言ボレロ」に合唱で共演。

合唱指導:近藤 直子/常任ピアニスト:山口 真歩



2023年12月9日(土)ギャラクシティ西新井文化ホール
歓喜の演 Vol.22 J.S.BACH 作曲クリスマスオラトリオ(1~3部)公演